

平成25年度 定数・機構編成のポイント

限られた人的資源の中、定員の再配分、組織・職位の再構築を行い、元気ビジョン第3ステージに掲げるまちづくり・市政運営の実現や、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」策定に向けて議論されている行政課題などに対応

◆「札幌市まちづくり戦略ビジョン」に掲げる戦略的取組課題への対応

【暮らし・コミュニティ】

▽社会的孤立への対応と地域でのつながりや支え合いによる安心して暮らせる地域づくり

- ・保健福祉の相談窓口開設 《区》保健福祉部
(保健福祉に関する困りごとにきめ細かく対応する窓口を区役所に設置するため、保健福祉相談担当係長を各区1名新設)
- ・保健師の地域保健福祉活動の充実《区》保健福祉部
(地域課題に応じた保健福祉活動を実践するため、先行的に3区へ地区担当保健師を各2名増員)
- ・区保健福祉部とまちづくりセンターとの連携の強化《区》保健福祉部・市民部
(地域保健福祉活動への支援充実のため、地域自主運営まちセンを除く79か所の所長に区保健福祉部課長職を兼務発令)

【産業・活力】

▽札幌の強みを生かした新たな付加価値の創造による足腰の強い経済基盤の確立

- ・企業誘致体制の強化《経》産業振興部
(外国企業等に関する新たな誘致施策の検討や先端技術分野・食関連産業・本社機能等の誘致活動強化のため、立地促進担当課長を新設)
- ・MICE推進体制の強化《観》観光コンベンション部
(国際会議やインセンティブツアー誘致強化に向け、MICE推進担当係長を新設)

【低炭素社会・エネルギー転換】

▽低炭素社会の実現とエネルギー政策の転換への対応

- ・全庁的なエネルギー施策統括組織の新設《政》政策企画部
(長期的視点に基づく全庁的なエネルギー施策の推進のため、エネルギー政策統括担当部長、担当係長2名を新設)
- ・都心部エネルギー施策検討体制の構築《市》都市計画部
(都心をモデル地区とし、電気・熱等の各種エネルギーの供給・需要の両面から、目指すべき将来像とその実現手法の検討を行うため、エネルギープロジェクト担当課長、担当係長を新設)

◆第3次札幌新まちづくり計画の推進

- ・国際芸術祭開催準備体制の強化《観》文化部
(平成26年の開催に向け、8名増員 計12名体制)
- ・アジア冬季競技大会開催準備体制の強化《観》スポーツ部
(アジア冬季競技大会組織委員会設置に伴い、部長以下4名を増員 計10名体制)
- ・中等教育学校開校準備体制の強化《教》学校教育部
(平成27年度開校に向け、6名増員 計10名体制)

◆その他

- ・生活保護世帯数増加による増 《区》保健福祉部 (区保護課へ 計53名増員)
- ・市立病院医師・医療技術職の増 《病》各部 (病院局全体で 計38名増員)